SOPHOS

ランサムウェアが社内の テクノロジーと従業員に 与える影響

ランサムウェア攻撃は、システムを機能不能にし、企業リソースを浪費するだけではありません。
IT チームやサイバーセキュリティチームにも悪影響を及ぼします。

テクノロジー

28%
データを暗号化された企業のうち、データが**盗難に遭った**とも回答した企業の割合

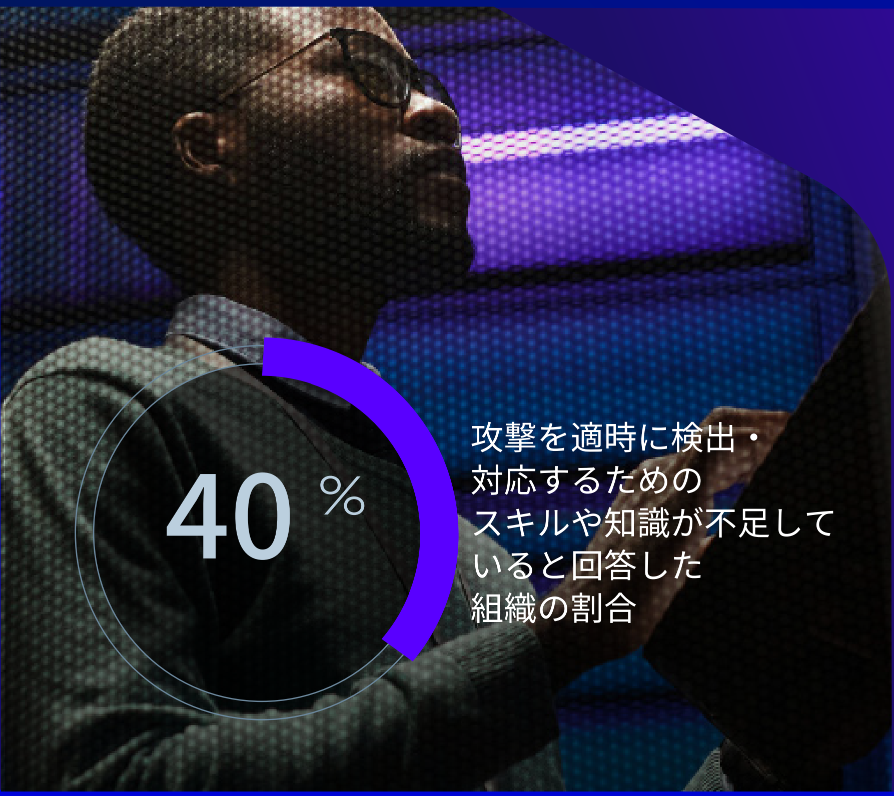
23%
漏洩した認証情報が悪用され、攻撃を受けた組織の割合

19%
悪意のあるメールを介してセキュリティ侵害を受けた被害者の割合

18%
攻撃の経路として**フィッシング**を挙げた回答者の割合

32%
脆弱性の悪用から始まったランサムウェアの攻撃の割合

従業員



40%
攻撃を適時に検出・対応するためのスキルや知識が不足していると回答した組織の割合

39%
攻撃発生時に、システムを監視する**サイバーセキュリティ専門家を十分に擁していなかった**組織の割合

41%
今後の攻撃についてストレスが**高まっている**と回答した IT/ セキュリティチームの割合

25%
攻撃発生後に **IT/ サイバーセキュリティのリーダーが交代**した組織の割合

ソフォス「ランサムウェアの現状 2025 年版」レポートでは、過去 1 年間に被害を受けたさまざまな規模の 3,400 の組織から得た知見に基づき、ランサムウェア攻撃の技術的および人的影響について解説しています。

なぜなら、一方が被害を受けると、もう一方もその影響を受けるからです。

「ランサムウェアの現状 2025 年版」レポートの全文は
sophos.com/ransomware2025 をご覧ください。